

今回、担当するのが嚙下障害のブースということで来場される方は高齢の方が多いのかなと思っていました。しかし、実際には小さなお子さんやその保護者など若い方も多く来場され意外に思いました。ある方はご自身でRSSTを体験され「おじいちゃんにもやってみようかな」とおっしゃっており、若い方への啓発活動が高齢者へつながることもあるのだと学びました。今回のイベントはスタンプラリー形式で、家族みんなでチャレンジされる方も多く、楽しみながら嚙下障害について知っていただけたのではないかと思います。今後は、高齢者だけでなく若い方への啓発ということも頭に置き、今回のような活動に参加したいと思います。

白十字リハビリテーション病院 立石万里菜

